

就労継続支援B型事業所 すずかけ

1 基本方針

地域で暮らす障がいのある方が、社会の一員として生きがいを持ち自立した日常生活を営むことが出来るよう、一人ひとりの障がいの状況に応じた生産活動の提供と個別支援を行う。

また、事業所内外の活動を通して、利用者の労働意欲の高揚を図るとともに作業環境の整備を通じて工賃の向上に努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 商品開発、販路拡大等による収入増と工賃の向上

ア 印刷関連作業に関わる利用者の発掘を行う。また、習熟した技術による顧客拡大と安定経営を目指す。

イ 鳥取県産業技術センター助言の下、HACCPの考え方を取り入れた食品衛生管理に努めると共に、手引書やマニュアルに沿った生産活動を行い商品の信頼性を高める。

ウ 受託作業について、利用者の特性に合わせた作業提供を進める。

エ 鳥取県障害者就労事業振興センター等と連携を図り、新商品の開発、新規の販売先を開拓し工賃の向上につなげる。(平均工賃目標月額 17,000円)

(2) 安全に配慮した障がい特性に合わせた支援及び職能評価

ア 新型コロナウイルスなどの感染症対策に心がけ、安心できる作業環境及び自閉症、行動障がい等の障がいの特性や高齢化に配慮した安心安全な作業環境を整備する。

イ 定期的に利用者の職能評価を実施し、個人の能力伸張に繋がる支援や助言に努める。

ウ 個別支援計画に基づき働く喜びや自信につながる支援に努め、自己選択、自己実現につながるサービス提供を目指す。

(3) 地域に密着した農福連携と地産地消

ア 「道の駅西いなば気楽里」「食のみやこわったいな」「道の駅かわはら」「鹿野ええもん市」、「ごきげんマルシェ」などに参加して地元の事業所で商品を販売し、地域の振興や情報発信に貢献する。

イ 県内の農家、漁業協同組合、企業等と連携し、地元の農産物及び水産物を加工し、地産地消を推進する。

(4) 利用者の安定確保

ア 相談支援事業所等と連携を図り、在宅障がい者の情報収集とニーズ把握に努め、見学、体験実習を積極的に受け入れ利用促進に努める。

イ 特別支援学校からの職場体験実習を積極的に受け入れ、卒業後の利用に繋げる。

[目標稼働率：85%]

(5) 地域福祉への貢献

ア 小・中学校や地域自治会との交流や地域のイベントに積極的に参加し、障がい理解の啓発に努める。

イ 地域公民館活動、「鹿野ええもん市」の環境美化などに参加し地域貢献に努める。

ウ 地域における生活困窮者支援の充実を図るために、他機関による支援やインフォーマルな社会資源との連携、協働による支援体制の構築に務める。(就労体験場所提供)